

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症心身障がい児福祉ルームみらい早良		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 1日		R7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	R6年 12月 1日		R7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療的ケア児の受け入れが出来る。	<ul style="list-style-type: none"> 医療的ケア児の受け入れに対し、看護師配置があり、機能訓練士等により専門的な支援が受けれる。 その日実施した医療ケア等を記載し、保護者との情報共有をしている。 主治医の指示書をもとに医療ケアの実施を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉サービスについての知識や技術を深め、家族の相談や助言が行えるように努める。
2	毎回支援会議を行う機会を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> 支援目標をそれぞれの職員で考えることで、全体で統一した支援を行える。 支援後には必ず評価を行い、反省点や次回に活かせる点等を話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で意見交換をすることで、各々のスキルアップにつなげている。
3	内部研修や外部研修を受講する機会が確保されている。	<ul style="list-style-type: none"> 内部研修では、職員内で講師を行い知識を拭深めている。 外部研修では、オンラインでの研修参加が行えるように環境を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修の講師を行うことにより、職員の質の向上を図る。 内部研修の年間計画を立て職員が参加しやすい環境設定を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流やご家族との交流が出来ていない。	<ul style="list-style-type: none"> 感染対策強化のため。 福祉サービスやスケジュールが違う為交流会の日程調整が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> 感染対策に気をつけ、交流や地域交流が行えるように検討する。 保護者様に交流会のニーズを確認し、検討していく。
2	屋外での支援があまりできていない。	<ul style="list-style-type: none"> 医療ケア児が多数おり、ケアの時間がそれぞれ異なっていた為、外出支援が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 外出する際は医療ケアの内容を事前に保護者様に相談し、短時間で外出できる場所がないか調べていく。
3	毎回支援目標を立てるなど、支援会議を行う機会を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> 職員皆で支援目標を考えることで、統一した支援が出来る。 終礼の際は支援目標に対して「良かった点」「悪かった点」「子どもの反応」など意見を出し合い次回に活かせるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見を出し合うことで職員の質の向上を図ることやモチベーションアップを行う。 会議に参加できなかった職員に関して情報共有するなどのスキルアップを目指す。